



平成28年 9月23日
国土交通省中部地方整備局
名古屋港湾事務所

海洋環境整備船「白龍」が台風16号により伊勢湾内へ 大量に流入した流木等の回収作業中です。

平成28年9月20日（火）に三重県・愛知県に接近した台風16号の影響により、伊勢湾内に流木をはじめとした大量の浮遊物が流入しました。木曾川や揖斐川などの河川から流入したものと考えられます。

海洋環境整備船「白龍」（名古屋港湾事務所所属）は、航行船舶の安全を守るため、9月21日（水）早朝に係留基地を出航し、船舶航行の障害になる長尺物の流木を優先して回収作業を実施しています。（参考資料－2）

9月21日と22日の回収は、木曾三川河口から中部国際空港沖（参考資料－1）の一般海域で作業しており、浮遊する4～10m程度の大きな流木を18本（約20m³）、草木約45m³を回収しております。

（※回収した中で最も大きな流木は径約80cm、長さ約10m）

流木については、同海域に約30本程度がまだ漂流していることを確認しており、今後とも河川から湾内に流れてくることが想定されるため、引き続き回収作業を行う予定です。

【参考】

白龍は、航行船舶の安全性確保と海洋環境保全のため、伊勢湾及び三河湾の一般海域（約1,800km²）の漂流物の回収を行うと共に、油流出事故など災害発生時の油回収等を行う船舶です。（参考資料－3）

●配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、
港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

●問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 中野(なかの)
Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801

■流木等浮遊物の回収位置





■ 流木等浮遊物の回収状況



流木の回収状況（1）



流木の回収状況（2）



回収後、船内に仮置した流木



航路に点在する草木等の浮遊物



草木の回収状況（1）



草木の回収状況（2）

海洋環境整備船「白龍」の概要

「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面浮遊ゴミの回収作業
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。
- 大規模地震・津波発生時の航路啓開。



担務海域
伊勢湾・三河湾 (1,800km²)



諸元
全長 33.5m
全幅 11.6m
総トン数198t

中部地方整備局 名古屋港湾事務所 所属



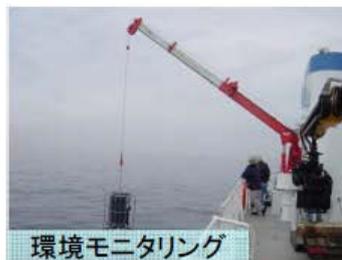
ゴミ回収状況



ゴミ回収状況



油回収装置



環境モニタリング



回収ゴミの陸揚げ

東日本大震災における災害
支援(海上漂流物の除去)
(平成23年4月23日～5月19日)

○海上物流拠点の仙台塩釜港及び石巻港を有する仙台湾周辺海域において、航行船舶の安全を図るため津波により発生した大量の漂流物を回収。

○漂流物回収量【239.1m³】